

よっ葉だより

2022 年
5月2日号
No.696

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆

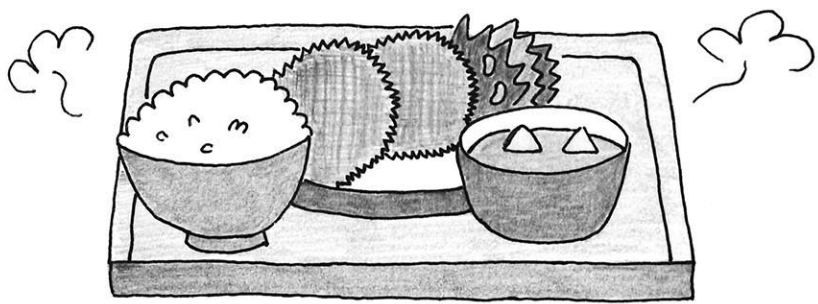


学校給食から考えること

千葉県いすみ市の学校給食の有機ヒト（オーガニック給食）が、まちづくりにつながる例として注目を集めています。いすみ市では、民間稲作研究所（栃木県上三川町）の稲葉光國さんの指導を受けて2013年から地元産の有機栽培コシヒカリの拡大を開始、有機栽培農家を徐々に増やし、2018年に全量が有機米、一部の野菜も地元産の有機栽培で作られるようになりました。愛媛県今治市もその好例です。「給食の食材を安心して食べられる有機栽培にしてほしい」と活動する地域も出てきています。

給食の歴史

学校給食の起源は、1898年山形県鶴岡市で、宗教団体が少数の貧困児童へ昼食を出したことが始まりだそうです。給食には、終戦後の食糧難のなかユニセフなどから援助を受け、日本に脱脂粉乳やパンがもたらされて広がり、歴史的な背景もあります。現在では、給食を通じて食材や栄養バランスを学び、行事食や郷土食が取り入れられるなど、「食」を学ぶ役割も果たしています。

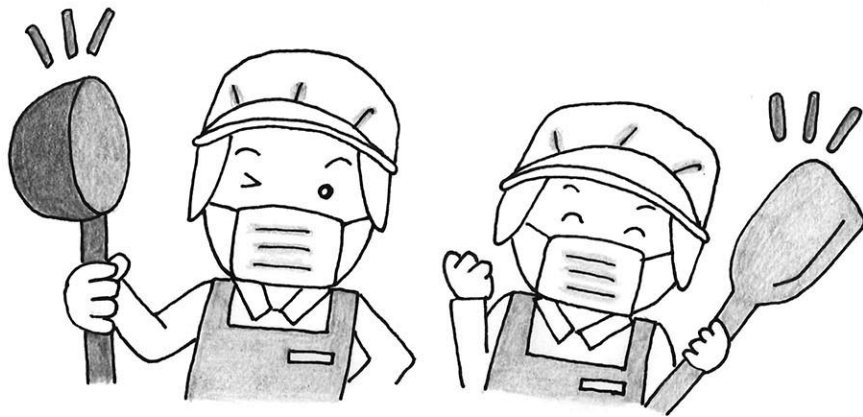


学校給食から始まること

「子どもたちが安心して食べられる有機食材を取り入れて欲しい」「一日の食事のうちせめて一食が地元の有機農家さんのものだったら」…大人の願いは膨らみます。子ども達が給食の時間に「△△地域の〇〇さんが作ってくれた有機栽培のお米です」と聞いて〇〇さんの顔が浮かんだら、顔が見える信頼関係が学校、地域から生まれます。一糸者に田植えを体験するかもしれませんが、課題は、全国の〇〇さん候補にどのよ

うに協力してもらい、有機栽培の技術を持ってもらうか？ ○○さんの仲間を増やすことも必要になります。

2050年に向けた国の「みどりの食料システム戦略」は、有機栽培面積を耕地面積の25%、100万haにする構想です。そのため2025年までに100市町村で「オーガニックビレッジ」を創生することを掲げています。学校給食が鍵となって、行政も、農業者も、消費者も一糸に同じ目標と理想を持って取り組みが進むと思われます。



子ども達に言わしたいこと

子ども達には、地域への愛着を持ってもらい、環境負荷の軽減や自給率の向上に有機農業が果たしている役割をきちんと伝えたいものです。国内自給率が37%しかない日本の現状は、実感に伴わない「食糧危機」だからです。大人の役目は、子どもたちが成長した後でも、幸せでいられる社会のためにできることを実践すること。自力でご飯を作れる、食べられる、貧困や格差のない社会をいかにつくっていくかだと思います。大人が学校給食に託す思いが、生きづらさ、暮らしにくさが少しでも減るような社会への一助として位置づけられればと考えています。

理事長 三輪



よつ葉生活協同組合 40 周年—前進する糧を求めて—①

生活協同組合よつ葉会の出発

安全で良い商品を普及させるセンター、せいきょうよつ葉会としてスタートしました。今でも、「よつ葉会」と呼ぶ農家、組合員がいる程慣れ慕われていました。通常〇〇生活協同組合のように名称が先にくることが多いのですが、よつ葉牛乳を飲む会がそのまま生協名になりました。関西方面には現在も「よつ葉」の名前の共同購入会があります。

第二次世界大戦後の 1946 年頃は食糧難で、町内会、職場レベルで共同購入会のような小さい生協が全国で 6 千も立ち上がったそうです。

時代と人々は生活向上を生協に期待しましたが、食料統制下での経営はうまくいかず、2〜3 年で解散に追い込まれた生協が多く出ました。

よつ葉牛乳を飲む会から生協設立に向けた 1970 年後半は、1964 年のオリンピック開催を機に、高速道路、重化学工場が高度経済成長の名のもとに、急ピッチで進められていました。

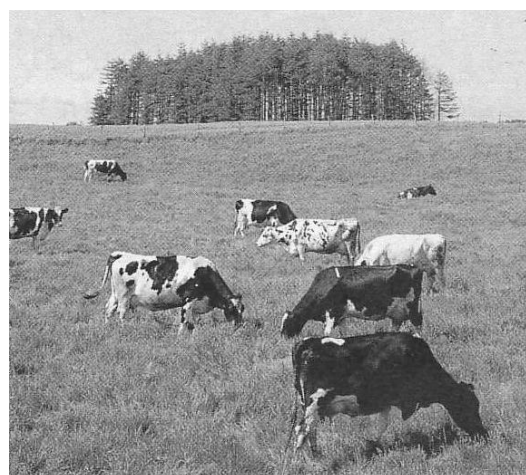
すでに 1958 年にはインスタントラーメンが開発され、添加物も問題になってきました。和食から、和・洋・中が食卓に並ぶようになってきました。生協設立の背景が食糧難の解決から、安全な食を求める内容に変化してきました。

1972 年、大手乳業会社でも、ヤシ油、魚の油を入れた牛乳が発覚し、国会でも取り上げられ、社長が辞任するはめになったり、牛乳から農薬が検出されたりと、子どもにとっても飲ませられるものではなかったようです。今では当たり前の成分無調整を求めてよつ葉乳業にたどり着き「3.4 よつ葉牛乳」1L のブリックパックに入れられるようになりました。

よつ葉乳業も本州の消費者の声を受け、1972 年に産直便を始めました。無調整牛乳の選択に北海道と九州の産地が候補に上がったそうです。牛乳が生産地以外に海を越えることへの業界内での風当たりや、品質保持の課題がありました。

よつ葉牛乳を飲む会が、小さいながらも生協設立へ向けた活動が関西地域で広がりました。よつ葉乳業という酪農家が主体となった協同組合的な考えに賛同して、産直生協のスタートを切った仲間がいたことは心強いことでした。こだわり生協として、現在もよつ葉生協と協力関係にあります。それぞれの地域で選んだよつ葉牛乳が、先々まで安全な食材を選び続けている生協に成長し、お互いに力を合わせ協力できるまでになるとは思いますが、最初の選択が将来を決め、未来のための選択がどんなに大事ななことかと思います。

(会長 富居)



「1994 年 別冊 暮楽々」より
パッケージやデザインも変わりました。

よつ葉周辺のオーガニック給食への取り組み in 坂東市

現在、全国各地で学校給食に有機食材導入を求めるお母さんたちの動きが活発になっています。

私は茨城県坂東市で去年 9 月にナチュラルスクールランチアクション（以下 NSLA）という団体の茨城県坂東市支部を立ち上げました。NSLA は 2019 年に愛知県あま市の一人のお母さんが始めたオーガニック給食プロジェクトです。2021 年に、内容にさらに広く深い意味をもたせるため、NSLA は目指すものを「オーガニック給食」から「エシカル給食」（人や社会、環境に配慮した給食）に変更しました。NSLA では署名や要望書といった一方通行のやり方ではなく、行政や給食センターの方たちとの協同を目指し、より健康的で循環する社会を目指して、対話を大切に活動しています。参画するメンバーは全国各地 40 団体を超え、連携を図りながら同じ目標に向かって取り組んでいます。

我が子のことだけを考えれば、それこそよつ葉生協で調達した食材を詰めたお弁当を毎日持たせるといった選択肢もあるのかもしれませんが、これからこの地球で生きていく【すべての子どもたちの未来】を考えたとき、今、私たちがエシカル給食実現に向けて動き出すことが、その未来を少しでも明るくする一つの手段になるのではと思っています。

NSLA ではエシカル給食実現に向けて共に取り組む仲間を募集しています♪

Zoom 説明会などもありますので、気になる方はお気軽にホームページや Instagram よりメッセージください。

(つくば地区 滝本さん)

https://instagram.com/nsla_bando?r=nametag

<https://komatsuna705.wixsite.com/nslaibaraki>



参加してみませんか

※コロナ禍で自粛してきましたが、感染予防の対策を講じて再開します。



地産地消～守ろうふるさと のこそう緑の大地～ 塩谷農業体験①「田植えをしよう！」

登録米でお馴染みの「塩谷町・和氣ふぁーむ」さんの3年ぶりの田植えです。のどかな田園風景の中で手植えをしていきます。

日 時：5月28日（土）10：00 ～11：30（受付9：45～）

会 場：和氣ふぁーむ（栃木県塩谷郡塩谷町大字泉 342）

参加費：無 料

定 員：10 家族 託 児：な し

締切日：5月13日（金）

主 催：よつ葉生協

問合せ・申込：よつ葉生協 組合員活動室 中村

TEL 0120-07-1613

※申し込み多数の場合は抽選になります。

※コロナウイルス感染状況により中止になる場合があります。

※食事の提供はありません。

※抽選結果は、5月17日（火）以降の発送になります。

※P4 の共通申込書でお申込みください。

ふみさんの

日々のカンタン！ あゃっ作り！！

柑橘
たっぷり！

さっぱり寒天ゼリー



< 材料 > 小さめカップ5ヶ分

柑橘 何でも 2～3ヶ
(伊予柑、はちまき、オレンヂなど)

A. 水 300cc
さとう 20g
粉寒天 2g



< 作り方 >

1. 柑橘はむいて果実をとり出しておく
2. 小鍋にAを全て入れてよく混ぜる
3. 2を火にかけて沸々してきたら弱火にして、さらに2分ばかり火を入れる
4. 粗熱がとれたらグラスやカップなどに流し入れて1の果実を加える

- ↓
- ・常温でもかたまります
 - ・暑い日は冷やしてもオケイ！！

ストレスを感じている時には・・・

東洋医学的にいうと、ストレスは
気のめぐりが悪くなる『^{気滞}』という
状態です。適度な酸味と甘味の
ある柑橘は気の停滞をとり除き
気のめぐりをよくする働きがあり、
年度始めのストレスや不安など、
自律神経の緊張をほぐすことに
役立ちます。ストレスの影響を
受けやすい胃腸をいたわるには
『発酵食品』です。香りのよい柑橘と
発酵食品で体の中からの養生が
オススメです。

オーガニックフードマイスター、調理師 発酵食品を使ったおやつ“日々のお菓子”製造、助産院
でのごはん作り等でも活動中！<理事 薄井史子 よつ葉サークル「なす子育ての会」代表>

「ルーコラム：逢えなくても繋がってるよ、よつ葉のわ！～繋ごう心の絆～」

組合員になってからもう30年くらいになりました！2人目の妊娠がわかってから、買い物どうしたものかと悩んでいた私に、友人から紹介されたのがよつ葉生協でした。最初は、1週間分の食材を頼むのに慣れなくて、スーパーで買い足したり、ちょっとめんどくさいなと思ったりして（笑）。でも組合員活動を通して、商品の良さを知り、出会った生産者の方々と、一緒に活動した友人たちのおかげで、生活の一部になり、今では当たり前になりました。つい最近、以前作っていた味噌づくりを始めました。大豆が煮あがったら、今年30歳なる息子が「おっこれが美味しいんだよな」とつまみ食い、どころではない本気食いに思わず手をピシヤリ。小さなころで大豆をつぶしたことなど思い出してほっこり。基本を教えてくれたAさんに感謝です。いろいろ思い出しながら次の方へ繋がります。

（足利地区 田嶋さん）



第 10 回 定例理事会報告 4 月 13 日（水）

《報告・協議事項》

(1) ふるさとを返せ 津島原発訴訟 原発事故の責任を問いふるさとを原状回復するために

公正な判決を求める署名活動について

2011 年 3 月の東京電力福島第一原子力発電所事故は、大量の放射性物質を撒き散らし、極めて過酷な被害をもたらしました。とりわけ、福島県浪江町津島地区は、高濃度の放射性物質により帰還困難区域とされ、いまだに除染されず地域住民はふるさとへいつ帰れるか目途も立たないまま現在に至っています。

2021 年 7 月 30 日には国と東電の責任を明確に断罪する判決を勝ち取りました。しかし、残念ながら津島の皆さんの「除染して元の平穏な暮らしができるように」との原状回復請求は棄却されました。

現在、原告、被告(国・東電)双方が控訴し、法廷での戦いは仙台高裁に移りました。地域住民の悲痛な訴えに耳を傾け、被害の実情を真摯に見つめ、歴史の検証に堪える公正な判決を下すことを裁判所に申し入れるための署名活動を実施します。

(2) 2022 年度 りんごオーナー募集について

3 月 4 週で 2022 年度のりんごオーナー募集が終了しました。口数は前年に比べ 96 口増加しました。

ご利用人数も 261 名増加となりました。毎年、ネオニコの危険性(人体や環境への影響)を理解している組合員が増加していると捉えています。

(3) 組合員活動報告

1. ①農業体験は、生産者と組合員の交流のため今年度は実施していく。

②オンライン行事も引き続き実施する。

2. 新年度活動テーマ

いつだって繋がってるよ！よつ葉のわ ～つなごう心のきずな～

●3 月度事業実績

組合員数	26,479 名（3 月 20 日現在 前年比 101.4%）
	加入 98 名 脱会 92 名
供給高	362,151 千円（前年比 9101.2%）
	2021 年 4 月～累計 4,463,162 千円（前年比 97.4%）

よつ葉太陽光発電報告

○2022 年 2 月 26 日から 3 月 228 日（30 日間）の太陽光発電量は、18,014kWh でした。CO2 削減量は 5,665kg（18L の灯油缶を 238 本燃焼した量）です。

<よつ葉だより休刊のお知らせ>

ゴールデンウィークで印刷会社お休みのため 5 月 9 日号のよつ葉だよりは、お休みさせていただきます。ご理解の程よろしくお願い致します。



ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告（4 月 3 週分）

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの助けあいの気持ち広がっています（単位：円）

栃木コロナ支えあい基金（860 番）	6,100
群馬コロナウイルス対策募金（861 番）	2,900
茨城誰かのために募金（862 番）	2,400
合 計	11,400

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。

WEB 注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。一口 100 円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告（4 月 3 週分）

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています（単位：円）

放射能から子どもを守る募金（900 番）	4,000
震災孤児を支援する募金（910 番）	16,200
「有機農業と国産種子」募金（920 番）	6,800
合 計	27,000

共同購入注文書裏の「10 品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。

WEB 注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。一口 100 円の募金になります。

共 通 申 込 書

希望する行事名に ☒ してください

☐ 塩谷農業体験①

会員コード	氏 名
住 所	
連絡のつきやすい電話番号☎	
参加人数（大人）組合員	人※同居の家族は組合員に含みます
（大人）組合員以外	人
（小・中学生）	人 歳 歳 歳
（未就学児）	人 歳 歳 歳
参加者のアレルギー	無・有（ ）

託児：6 カ月以上のお子様から	人 歳 歳 歳 歳
お子さんのアレルギー	無・有（ ）

備考欄

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/> メールアドレスが変わりました。

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホームページ



Facebook



Instagram